

渋谷孝雄氏「独木舟（まるきぶね）について」 日本最大の「独木舟」である

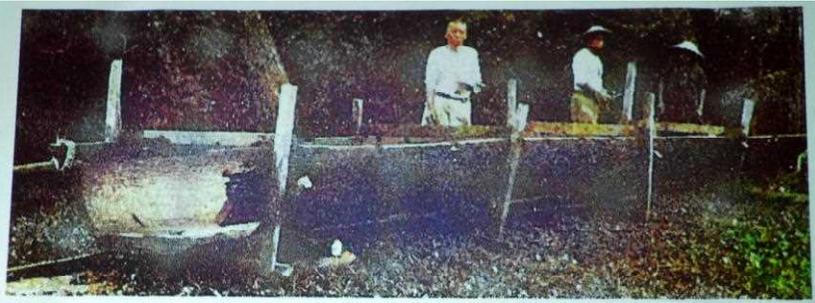
第3回ふじしま歴史文化講座

『ふじしま歴史文化講座』座長 国史跡旧東田川郡役所及び郡会議事堂と藤島地域の文化財』の第3回講座が11月29日、東田川文化記念館明治ホールで開かれました。



テーマは「山形県指定有形文化財 独木舟について」で、講師は、渋谷孝雄氏（山形県うきたむ風土記の丘考古資料館館長）です。

「独木舟は、発掘から90年が経過しているに



藤島小学校の前庭における独木舟（阿部政己氏論文から）

もかかわらず、いまだに日本最大の「独木舟」であることに変わりはありません。万全の保存措置を続けていく必要がある」と述べました。

発見は、昭和6（1931）年に藤島中町の今野良吉氏が、コンクリートの溜池を造ろうとして、地下1・35メートルまで掘ったとき、土中に妙なものを発見し



独木舟の出土地、藤島城跡の東側

たことが契機となりました。翌7年11月28日に、東北帝大講師・喜田貞吉博士の指導のもとに発掘を試みたが、県道を掘り返すことに支障

があり、2つの舟体と櫂だけ取り出して中止。昭和11年7月に県道発掘の了解を取り付け、早稲田大学教授・西村真次博士の調査により、7月27日から28日の夕刻にかけて掘り上げ、藤島小学校の校庭に運び込まれた。

昭和31（1956）年に、山形県の有形文化財に指定。当時は設置場所に困り、町役場の渡り廊下に吊り下げられたり、中央公民館に置かれ、平成元年（1989）から保存処理に取り組みました。

昭和31（1956）年に、山形県の有形文化財に指定。当時は設置場所に困り、町役場の渡り廊下に吊り下げられたり、中央公民館に置かれ、平成元年（1989）から保存処理に取り組みました。



講演後、旧東田川電気事業組合倉庫2階の展示場所を見学し、説明を受け

ふるさと賛歌

鈴木重雄（八色木）

日向富編・歌集「のうぜんかずら」⑱

例会以外に詠まれた短歌

吾子のみに「死亡」の文字しるされてク
ラスの名簿夕べ届きぬ 池田竹恵

父逝きし悲しみ未だ湧かぬらし五歳の遺
児は歌うたひをり 同人

佛壇を埋もる程の供花匂ふ死せる命の還
る術なく 同人

早春を温床作りし若夫婦床をふみつつ出
来ばえ願ふ 石川きくせ

馬死して替はりに買ひし大農具仕事らく
なれど支払ひ案ず 同人

農政の不信語りし吾が家でも老いたる夫
出稼ぎに発つ 同人

秋雨の続きて白菜摘みもせず新雪降られ
晩秋に摘む 同人

義父逝きてあと追ふ如く義母もまた雪に
埋もれる山の墓場に 石川重雄

新雪の降り積もりこし山裾を縫ふ如く行
く葬式の列 同人

在りし日の義母の唄へる節まはし脳裏に
聞こゆ吹雪く墓場に 同人

水澄める川のぼりこし鯉の群尾ひれ鼻先
傷あと白く 同人

朝霧の蝦夷松林のあたりより野鳥の声
ゆオモタイの宿 石川兵一郎

三月の連絡船の熱い黍珍らしみて食むそ
のおいしさよ 同人

荒天に会葬されし短歌の師の言葉温かく
胸に迫りて 同人

海外の旅さへ何時か戻るのみ不帰の人な
り逝きし倅は 同人

ひと七日講中の手向ける御詠歌を心し
じみ有難く聞く 同人

孫にだけは涙見せるなと妻に言ひ男泣き
せし己を恥ぢる 同人

入大雪 大雪に入る(たいせつにいる) 城貞(藤の花)

飄々六葉極寒生
陡覚繁条打屋鳴
庭木枝垂知雪重
時間古樹折梅声

飄々たる六葉 極寒 生ず
陡に覚ゆ繁条 屋を打って鳴るを
庭木 枝 垂れて雪の重さを知る
時に聞く古樹 折梅の声



(画・加藤貞雄)

雪が空いつぱいひるがえり、この上もない寒さとなる。にわかに気づく、繁った木の枝が家に当って、ぶつかると音を耳にする。庭木が、ずい分降り出した雪の重さが分かるのは、雪の重さに堪えかねて、古木の梅の枝が折れる音が、聞こえるからだ。

大雪 〓 十二月七日 〓 十二月八日。
飄々 〓 高くあがる。とびあがる。ひるがえる。
六葉 〓 雪の別称。
極寒 〓 この上もない寒さ。
陡覚 〓 にわかに気が付く。
繁条 〓 しげった木の枝。
古樹 〓 古くなった木。

映画『TOKYOタクシー』を觀ましたか？

満94歳になる山田洋次監督の91本目の最新作です。津子(倍賞美津子)を高齢者施設に送るタクシー運転手(木村拓哉)の1日を、彼女が語る衝撃の過去に驚きつつ、惹かれていくなかで、家族への思いを深めていく小品です。



この作品の原作は、2022年にフランスで公開された映画『パリタクシー』。これまで山田監督がリメイクした作品は唯一、小津安二郎監督『東京物語』(1954年)の『東京家族』(2013年)のみ。いかにこの作品に惚れたかが想像されます。

この映画には、山田監督の思いい寅さんの柴又や、隅田川にかかる言問橋(東京大空襲、在日朝鮮人2世などが登場します)。



きびちよ

原則を変えたいと

首相が変わったからとて、そんなに変わって良いんですか。どんどど戦争が近くなってくる感じがするのは俺だけではないでしょ。中国を怒らせた存立危機事態発言は取り消していないし、そんなことになったら戦後無かった、自衛隊員の間にも死者が出る事に。そんな具体的な話になれば、自衛隊に入る者は益々減るだろうが、今度は非核三原則が邪魔だと言うんだト。唯一の被爆国の日本が、核兵器は「作らず持たず持ち込ませず」と国会決議をしたものだヨ。

▲この三原則を決めた首相・佐藤栄作は、この事でノーベル平和賞を貰ったんだ。核不拡散にも力を発揮していると思うが、高市首相は核の傘の力のために核を持ち込ませたいんだ。持ち込めば核の傘でなくなつてあ。首相は、自分で核のボタンを握りてえんだやの。

▲現在、核持ち込みには事前協議が必要なんだが、日本は事前協議の申し入れがないから核は持ち込まれていない。としていいるが、神戸は、核を積んでいないとの証明書を出せと、神戸方式と言われる事をしていいるから、神戸にはそんな艦船は入ってきていないんだト。

▲協議については、核を積んで世界を回る艦船が日本に入るからとて、本場で核おろしてんなだがや・となるから、これはゴマカシ? ▲武器輸出三原則も変えて、兵器をいっぱい売りたいそうだが、原則ナンだよ。原則を変えようなんて考える、困った人が首相になつたもんだ。世界から核兵器を無くする先頭に立たなければならぬ人なの。(石川)

東栄小獅子踊りものがたり①

試行錯誤の獅子頭くらし

元東栄小教諭・吉野文夫



雪の降る2月、横手市の「ふるさと村」ドーム劇場で、わらび座公演の一部に獅子踊りがあり、終演後獅子頭を見せてもらったところ、和紙で作られていたのです。和紙面作りを応用することがわかりました。

3月下旬、上山市「蔵六面工房」を訪ね、指導と意見を受け、和紙材料を分けてもらいました。完成まで数回訪ねました。あと一年の教員生活、退職記念に、なんとか使用できる獅子頭を

一学年分はと、取り組みを始めたのです。一部屋の畳を起こして作業場とし、基本的な粘土と石膏からの格闘です。多量に使用する糊を近所の表具屋さんにお願いしました。角(つの)とマスコットも和紙で試作しましたが、大変手間がかかり、期間内では無理で、元父兄の看板屋さんの意見から、ポリ製の板を使用することになりました。9月中頃になり、ようやく基本の型と材料を決定、量産に入ることができました。(つづく)